

科目区分	専門分野	履修学年	2 年前期	単位数	1	時間数	30
科目名	母性看護概論保健			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 母性看護学 ①概論・リプロダクティブヘルスと看護 2) メディカ出版 母性看護学 ②母性看護の実践 3) メディカ出版 母性看護学 ③母性看護技術						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学概論 2) 国民衛生の動向						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>母性看護の概念、特徴、対象および対象を取り巻く社会の変化等について学ぶ。また母性看護は生命誕生に関与する看護学であることから倫理的問題について考え、生命や性に関する人権の尊重について学ぶ。さらに胎児期から老年期の中でも性的な発達や変化が顕著となる思春期から更年期を中心にそれぞれの発達課題とその看護について学ぶ。女性の一生を通じた母性の健康の保持増進を旨とした看護を基盤として、次世代の健全育成を旨とする看護を学ぶ。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 母性看護の基盤となる概念を理解する。 母性看護の対象と社会の変遷・現状を理解する。 母性看護の課題と役割について考えることができる。 思春期・成熟期（非妊娠期）・更年期・老年期の特徴と健康課題を理解する。 女性の健康課題とリプロダクティブヘルスケアを理解する。 母性看護の倫理について考えることができる。 							
評価方法	レポート 筆記試験						
備考	関連科目：解剖生理学, 病態学, 公衆衛生学, 関係法規, 生命倫理, 家族社会学, 生活科学, 感染症と微生物, 災害看護						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	母性看護の基盤となる概念（1） 母性とは／セクシュアリティ	
2	母性看護の基盤となる概念（2） リプロダクティブライツ／ヘルスプロモーション	
3	母性看護における倫理 母性看護における安全・事故予防	
4	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	
5	母子保健統計 母子保健施策における看護の役割	
6	地域母子保健・市町村の母子保健活動・産後ケアシステム	
7	生殖器の形態・機能 性周期と月経異常 性分化のメカニズム 出生前診断	
8	各期の特徴と保健指導（思春期）	
9	各期の特徴と保健指導（成熟期）	
10	各期の特徴と保健指導（更年期・老年期）	
11	女性の意思決定を支える技術 ヘルスプロモーションのための看護技術	
12	女性の意思決定を支える技術 ヘルスプロモーションのための看護技術	
13	リプロダクティブヘルスケア（1） 家族計画・性感染予防 母子保健の国際化	
14	リプロダクティブヘルスケア（2） 10代の妊娠・女性とたばこ・女性と飲酒 性暴力を受けた女性・DV、妊産婦を守る災害ガイドライン	
15	終講試験 まとめ解説	